

訪日外国人にとっても利用しやすいICT基盤の実現

産業

ICT基盤の更なる普及・発展を通じた産業の競争力強化

- **経済活性化**: 様々な産業におけるICTの導入・活用による新産業・サービスや付加価値の創出・生産性向上
- **社会的課題の解決**: 医療の高度化やスマートコミュニティによる省エネ化等による社会的課題の解決
- **便利な社会の実現**: センサーやビッグデータを活用した渋滞緩和や周辺情報の提供等、交通システムの高度化 等

クラウド、ビッグデータ
セキュアネットワーク 等

M2M、センサー
IoT (Internet of Things) 等

新事業・
新サービス

(6) 利用機会が確保
されるべきICT
基盤の在り方

消費者

ICT基盤の更なる普及・発展を通じた利用機会の確保、安心・安全の確保

- **地域の活性化**: ICT基盤の整備による地域への企業誘致、ICT活用による生活支援
- **安心・安全の実現**: 利用者がより安心して利用できるICT基盤の実現
- **オリンピック・パラリンピック東京大会への対応**: 公衆無線LANの利用環境整備等、訪日外国人が利用しやすいICT環境 等

光ファイバ
4K・8K等

スマートフォン、無線LAN
ウェアラブル端末 等

(5) 利用者ニーズに適した
多様なサービス、多様
な料金体系の実現

(8) 訪日外国人に
とっても利用し
やすいICT基
盤の実現

- 過剰なキャッシュバック
- 料金の利用者ニーズとの乖離

固定通信

利用率の伸び悩み
(整備率: 97%、利用率: 50%・
超高速固定系ブロードバンド)

苦情相談の
増加・高止まり

競争事業者

設備
事業者

サービス
事業者

設備競争とサービス競争

設備

設備

光ファイバ等の貸出

NTT東西

設備シェア: 85%
サービスシェア: 54%
(固定系ブロードバンド)

(7) 安心してICTを利用
できる環境の整備

(3) 超高速ブロードバンド
基盤の高度化・低廉
化・強靱化

移動/固定の相互補完
サービス連携の進展

(4) 市場の環境変化を踏
まえたNTTグループ
への規律の在り方

移動通信

MNO

NTT
ドコモ

KDDI

ソフト
バンク

グループ化・寡占化の進展
グループ内連携の進展

(1) グループ化・寡占化に
対応した競争政策の
在り方

MVNO

シェア: 4%

(2) MVNOの更なる参
入促進を通じた多彩
なサービスの提供

無線ネットワークの貸出

ICT基盤

論 点

【現状と2020年代に向けた課題】

- ・ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催やグローバル化の一層の進展を踏まえ、少なくとも2020年オリンピック・パラリンピック東京大会までには、我が国の魅力向上・発信の観点から、訪日外国人にとっても利用しやすいICT基盤の実現が必要となる。

【論点】

- 1) 訪日外国人にとって使いやすい無料公衆無線LANの利用環境整備の在り方についてどう考えるか。
- 2) 訪日外国人による海外端末の持ち込みに対応したMVNOによるSIMの提供の促進等についてどう考えるか。

- 本論点は、本年4月に上川総務副大臣の下にプロジェクトチームを設置し、無料Wi-Fiに代表される訪日外国人のICT利用環境整備に向けた取組について検討を実施。
- 本年6月12日、総務省において、訪日外国人のICT利用環境整備に向けたアクションプランとして「SAQ² JAPAN Project」を取りまとめ、公表。